

## 自営業収入がある方の認定基準について

当健保では、2021年7月1日より自営業の方の年間収入は、以下の取扱いです。

**計算式** : 年間収入 = 自営業収入 - 当健保が認める直接的必要経費 \*

\* I H I グループ健康保険組合が認める直接的必要経費

| 判定  | 内容  |
|-----|---|
| 「○」 | 直接的必要経費として認める経費   |
| 「△」 | 「収支内訳書」の「事業所住所」と「自宅住所」が同一の場合、用途が混在している可能性があるため、事業使用分と自宅使用分が明確にできる書類（直接的必要経費申告書）が添付された場合に限り、審査のうえ事業使用分のみ認める。また、科目により、一部認めない経費もある。  |
| 「×」 | 直接的必要経費として認めない経費  |
| 「/」 | 従業員（身内を含む）の雇用があり、給料賃金を支払った場合は、社会通念上、申請者は従業員の雇用主として社会的責任を果たす立場にある。したがって、健康保険制度の趣旨から、自らが被扶養者として生計を維持される立場になることは妥当ではなく、扶養認定対象にはならない。 |

| 一般所得        |    | 農業所得        |    | 不動産所得       |    |
|-------------|----|-------------|----|-------------|----|
| 科目名         | 判定 | 科目名         | 判定 | 科目名         | 判定 |
| 売上原価（仕入代）   | ○  | 雇人費         | /  | 給料賃金        | /  |
| 給料賃金        | /  | 地代・小作料・賃借料  | △  | 減価償却費       | ×  |
| 外注工賃        | △  | 減価償却費       | ×  | 貸倒金         | ×  |
| 減価償却費       | ×  | 貸倒金         | ×  | 地代家賃        | △  |
| 貸倒金         | ×  | 利子割引料       | ×  | 借入金利子       | ×  |
| 地代家賃        | △  | 租税公課        | ×  | 租税公課        | ×  |
| 利子割引料       | ×  | 種苗費         | ○  | 損害保険料       | ×  |
| 租税公課        | ×  | 素畜費         | ○  | 修繕費         | △  |
| 荷造運賃        | △  | 肥料費         | ○  | 雑費          | ×  |
| 水道光熱費       | △  | 飼料費         | ○  | 専従者給与・専従者控除 | /  |
| 旅費交通費       | △  | 農具費         | △  | 青色申告特別控除額   | ×  |
| 通信費         | △  | 農薬衛生費       | ○  | /           |    |
| 広告宣伝費       | ×  | 諸材料費        | △  |             |    |
| 接待交際費       | ×  | 修繕費         | △  |             |    |
| 損害保険料       | ×  | 動力光熱費       | △  |             |    |
| 修繕費         | △  | 作業用衣料費      | △  |             |    |
| 消耗品費        | △  | 農業共済掛金      | ×  |             |    |
| 福利厚生費       | ×  | 荷造運賃手数料     | △  |             |    |
| 雑費          | ×  | 土地改良費       | ○  |             |    |
| 専従者給与・専従者控除 | /  | 雑費          | ×  |             |    |
| 青色申告特別控除額   | ×  | 専従者給与・専従者控除 | /  |             |    |
|             |    | 青色申告特別控除額   | ×  |             |    |

● 注意点

- ① 当健保が必要経費として認める額を除いた年間収入限度額130万円（60歳以上の方、障害をお持ちの方は180万円）未満かつ、被保険者の収入の2分の1未満であれば被扶養者として認定します。
- ② 必要経費の判定「△」印であっても、内容によっては認められない経費もあります。